



知らなかった優しさ

大阪府立工芸高等学校 3年

ほし かわ まい な
星川 舞奈

私はよく利用する地下鉄御堂筋線の長居駅に、車いすを使っている人のために工夫されている優しさを探しに行きました。その中で5つ優しさを見つけました。

1つ目は、ホームと電車のすき間が小さいことです。電車から降りる際、車いすの方は駅員さんに折りたたみ式スロープを用意してもらっていますが、長居駅ではそうしなくても、すき間の大きさが20～35mmなので、簡単に楽に降りることができます(写真1)。

2つ目は、ひとつの改札だけ通常よりも大きくなっていることです。車いすは幅が大きいので普通の改札だととても通りにくいですが、大きいことで通りやすくなります(写真2)。

3つ目は、バリアフリートイレがひとつだけでなく、男性トイレ、女性トイレにそれぞれ設置されているところです。バリアフリートイレは男女どちらも利用するので、使いたくないと思う人も多いと思いますが、トイレが男女別で分かれていることで、車いすの方でも安心してトイレに行くことができるので、とてもいいなと思います(写真3・4・5)。

4つ目は、改札階からエレベーターに乗っても、ホーム階で降りる時は正面がホームになるように工夫されているので、後ろに下がって向きを変えたりしなくても行きやすいとこ

ろです。Uターンするのは車いすの人からすると大変なことだと思うので、この優しさもすごくいいなと思いました(写真6・7)。

最後5つ目は、階段を使わなくてもホームから地上に出ることができることです。車いすの方は階段を上ることができないので、人に頼むことなく簡単に上がることができます(ルート図参照)。

今回初めて街の優しさを探しに行きましたが、車いすの方のこと以外にもたくさんやさしさがあって、階段の手すりが2段になっていたり、トイレにアナウンスが付いているので視覚に障がいがある方でもどちらが男性トイレなのか、女性トイレなのかすぐに分かることができます。他には、電車との接触を避けるために電車とホームとの間に柵があることです。私が御堂筋線を利用するようになった時、柵がなくて押されたりしたら落ちそうだなと思っていました。柵を付けることで誰にとっても便利に使うことができるので、みんなの優しさがあってとてもいいなと思いました。街の中にはたくさんの優しさがあってもっとみんなにとってより良くなっていけばいいなと思います。



写真1



写真2



写真3



写真4



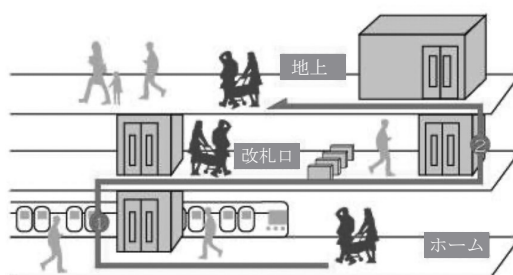
写真5



写真6



写真7



ルート図